

ゆうやけ



双海地区公民館 発行
 双海町上灘甲5821-6
 電話 986-1114
 F A X 986-1224

双海地区の人口
 (1月末現在) 3,338人
 男性 1,553人
 女性 1,785人
 世帯数 1,610世帯

ベンチでつくる、憩いと交流の空間



2月19日(日)、JR下灘駅下の波返してベンチ設置セレモニーが開催されました。双海町ジュニアリーダー会が、えひめ地域活力創造センターの助成金を活用し「海岸線憩いのフォトスポット事業」と称して地元住民やサイクリストの憩いの場を創出しました。この取組では、高野川から満野まで、全長16kmの海岸線に約1km間隔で、計16箇所ベンチを設置する計画です。地域の皆さん、海岸線でベンチを発見したら、ぜひ座ってみてください♪



熱心に制作するジュニアリーダーたち

下灘駅に設置するベンチを考えた三井汐奈さん



それぞれのベンチに座って記念写真を撮るジュニアリーダーたち



総勢23名で行うテープカットは圧巻です！きっと忘れられない思い出になりますね♪

3月の行事予定

1	水	
2	木	
3	金	レディースセミナー
4	土	ふるさと体験塾・高齢者教室
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	双海町こども教室実行委員会
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	春分の日
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

由並短歌会 令和五年二月一日歌会作品

去年今年白頭搔けば髪うすしコロナ病の戦禍なりしか
 庭すみに子等が植たる学卒の記念の紅梅つばみ膨らむ
 藪椿落ちてもなを赤き色踏まじとよけて別の道行く
 やや盛り越えたるバラのおくれ花吾に向かせて花の白を待つ
 春の海白馬跳ねる沖の辺にニシの風吹き海鳥の散る
 枯れ草の茂みひと群れみどりづくかきわけみれば寒あやめ一輪
 児童らと薔薇の折り紙体験す皆の活気で一つ完成
 会いたいと娘らの切なる願いにも今しばらくを待てと諭しぬ
 暮れからの水のトラブル年明けも今年是多難の年になるのか

上田 穂
 松田 米博
 稲田 文子
 西尾フミ子
 久遠
 灘野 初子
 田和 裕子
 山崎タマミ
 清田 学

閨住の菜の花が見頃です

冬の寒さを乗り越え、少しずつ春の温かさを感じられる季節となり、閨住地区の菜の花街道が見ごろを迎えました。菜の花だけでなく、桜や水仙の花も同時に見ることができます。この時期だけの双海の風物詩を皆さんもご覧になってはいかがでしょうか。



主事部屋

先日、双海町ジュニアリーダー会がベンチ設置セレモニーを開催しました。今年度のジュニアリーダーの活動は、例年以上に「地域の活性化」を意識したものとなり、充実した1年になりました。ジュニアリーダーの皆さん、1年間本当にお疲れ様でした。(出海)

俳句同好会 令和五年二月句会作品

早春の海平らかに入り日受く
 合唱のやわらかい声春近し
 春よ来い素顔のまま来るがいい
 どの窓を開けても染し庭椿
 一瞬に見渡す限り雪の里
 止り木で払ひ落とせし肩の雪

早崎 洋子
 大山 真一
 上田 穂
 小泉 和子
 池田フデコ
 東 正三



3年ぶりの視察研修は、ミュージカル観劇

1月15日(日)、レディースセミナー第8回講座を開講しました。今回の講座は、視察研修として坊ちゃん劇場でミュージカル「ジョンマイラブ」を観劇しました。

この視察研修は、株式会社レスパスコーポレーション様から提案いただいた観劇コースに、受講者の皆さんの意見を加え作り上げた講座になりました。

坊ちゃん劇場があるクールスモールには、温泉や食事を楽しめる「利楽」が併設されています。今回は「利楽」で昼食をいただきました。皆さん、落ち着いた雰囲気の中で美味しい料理を楽しんだようです。

昼食後はいよいよミュージカルの観劇です。

「ジョンマイラブ」は、アメリカから帰国したジョン万次郎と妻「鉄(てつ)」の物語です。

漂流から帰国までの体験を、冒険劇風に描かれることが多いジョン万次郎ですが「ジョンマイラブ」では違った視点で描かれています。

受講者の皆さんは、この観劇でどのようなことを感じたのでしょうか。

伊予市でも市民参加型ミュージカルを毎年開催しています。今度は、受講者の皆さんが感動を伝える側になってみませんか。



観劇前の記念撮影。これから始まるミュージカルに皆さんワクワクしていました。



昼食会場の「利楽」は、宿泊や入浴も楽しむことができる温泉宿泊施設です。併設されているショッピングセンターやレジャー施設をを楽しみながらゆったりと1泊するなど、自分だけの楽しみ方を見つけてみてはいかがでしょうか。今回の視察研修が、非日常の楽しみ方を考えるきっかけになればと思います。

『つながり』をテーマに、生涯学習推進大会開催

2月18日(土)、IYO夢みらい館で令和4年度伊予市生涯学習推進大会が開催されました。今回は「つながり!人の和 地域の輪」を大会テーマに「双海町ジュニアリーダー会」の二宮莉穂さん、中野珠里さん(共に日喰)と「いよ本プロジェクト」の岡田有利子さんが活動報告を行いました。その後、愛媛大学教職大学院特定教授の遠藤敏郎先生から「つながりで地域の未来を拓く～地域教育をキーワードにして～」と題した記念講演がありました。どの話の中でも「人と人とのつながり」というキーワードがありました。コミュニティの希薄化が進んでいる現代社会において、改めて「人と人とのつながり」の大切さを学びなおす機会となりました。皆さんも今一度「つながりの大切さ」を考えてみてはいかがでしょうか。



双海探訪～双海の文化財、今と昔～シリーズ⑤

今回は、第5弾として本郷地区にある「三島神社の二重門」を訪ねてきました。

三島神社の二重門は、昔の写真と現在では見た目には大きな変化はなく綺麗に保たれていました。現地を訪問した際にも、地域の方が三島神社へと続く石段の手入れを丁寧になさっていました。季節に関わらず、暑い日も寒い日も丁寧に手入れをされており、改めて地域住民の皆様に愛され大切にされているのだと実感しました。二重門の特徴としては、扇垂木や大き目の蛙股が用いられているため頑丈であり、県下の他の古社寺の中で類を見ないまれな二重門とされています。

三島神社にご参拝の際には、神社へと続く石段を登り二重門にたどり着いたら、ぜひ一度後ろを振り向いてみてください。双海が誇る美しい海を一望することができ、天気の良い空気が澄んだ日には、海を隔てた山口県も見ることができます。これまで、地域の皆様が愛をもって守りつづけた「三島神社の二重門」と「双海の美しい海と景色」をこれからも大切し守り続けていきたいですね。(インターンシップ生：上岡、百合田著)

2. 有形文化財(建造物) 三島神社の二重門



平成8年頃



令和4年9月

文化財名の頭の番号は、「双海の文化財」内の通し番号です。写真は、左が「双海の文化財」から引用、右は現在のものです。

この建造物は、江戸後期の二重門造であり、元禄文化の影響を受けた華麗優美な建物である。周囲の彫刻は、京都の名工の作と伝えられている。この二重門の特徴は、扇垂木(おおぎたるき)と多くの蛙股(かえるまた)が用いられているところから県下の古社寺にその比を見ないまれな二重門とされている。面積は16.5㎡あり、均斉のとれた二階十二脚門である。扇垂木の組み方、蛙股の彫刻による桁を支えた様相は、神社建築の特徴を備えたものである。(引用：「双海の文化財」)

双海地区公民館からのお知らせ

自治公民館関係書類の提出について

今年度もいよいよ残すところ1ヶ月ほどとなりました。各自治公民館長の皆様におかれましては、下記書類をお渡ししておりますので、提出期限までにご提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 提出書類 ①令和4年度 公民館活動実績
②令和5年度 公民館活動予定
③令和5年度 公民館役員名簿

■提出期限 **令和5年3月31日(金)**

社会教育関係団体登録制度

市内で社会教育活動を行っている団体を支援するため、社会教育関係団体の登録制度が設けられています。この制度に登録した団体は、公民館や社会教育施設などを使用した場合、使用料が減額されます。※施設や活動内容により減額されない場合があります。

※現在登録されている団体は**令和5年3月31日まで**が有効期限なので、更新の手続きが必要です。

- 申込み・更新方法 申請書に必要事項を記入し、必要書類を添付の上、社会教育課または各地区公民館へ提出してください。必要書類や対象団体など詳しくは、伊予市ホームページをご覧ください。

■問い合わせ先 社会教育課 ☎089-982-5155

ふたみ公民館だより第213号「二十歳を祝う会の開催日誤りの訂正」について

「令和5年1月9日(日)」としていましたが、正しくは「8日(日)」です。訂正してお詫び申し上げます。